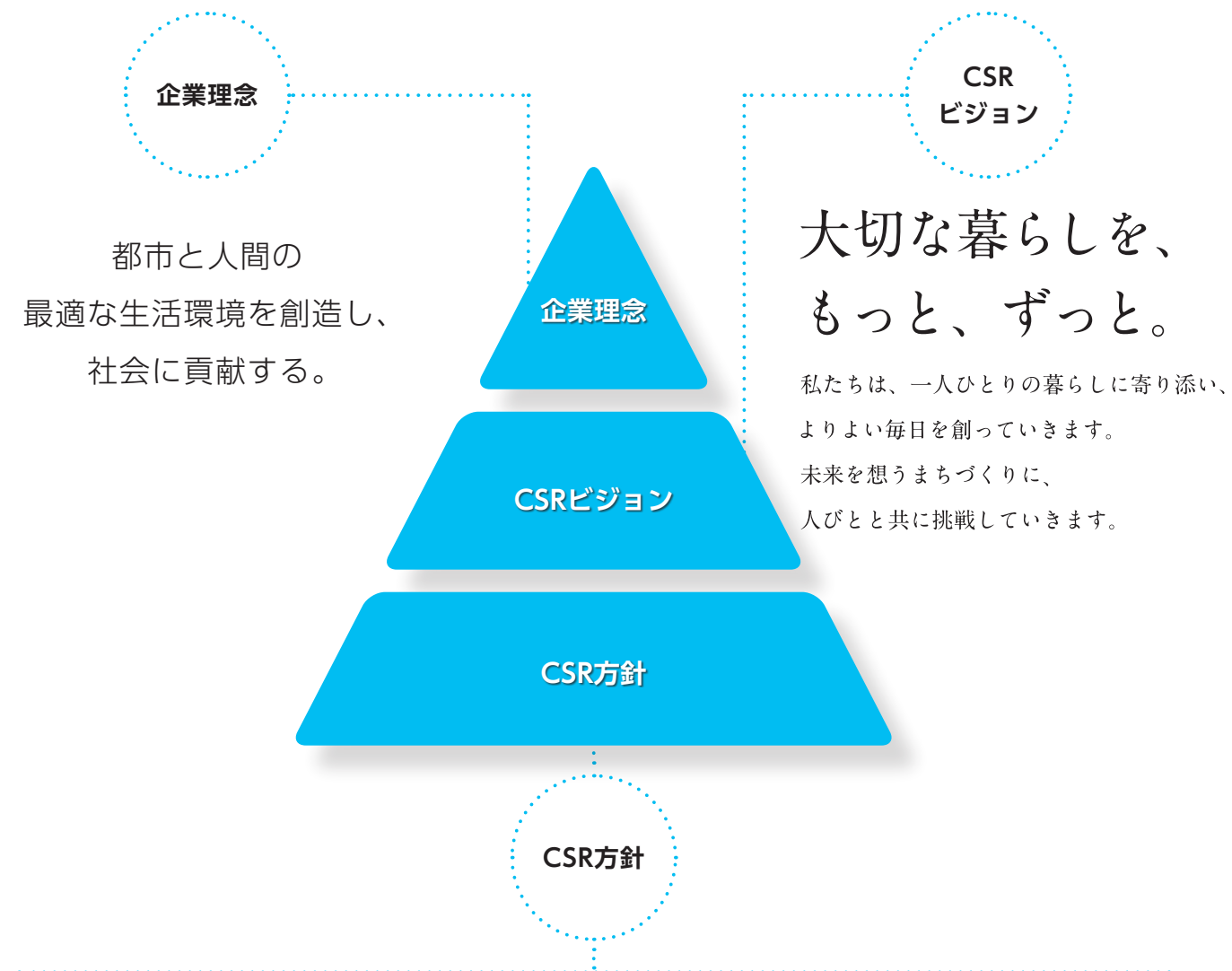


長谷工グループのCSRマネジメント

私たち長谷工グループは、長期的な視点に立ち、暮らしを取り巻く社会課題を、事業を通じて解決していくことを目指しています。
住まいと暮らしの創造企業グループとして、企業理念の実現に向け、CSRビジョンのもとCSR活動を推進し、持続可能な社会に貢献していきます。



私たち長谷工グループは、CSRビジョンの実現に向け、次の方針のもとに、CSRへの取り組みを推進していきます。

1. 住まいと暮らしに関わる幅広い事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
2. 環境や社会に配慮した事業プロセスの実現に向けた取り組みを、ステークホルダーと協働して推進します。
3. 生活者をはじめとする様々なステークホルダーの期待に応え、社会に新たな価値を生み出し続けていくために、グループ総合力を最大限に活かすマネジメントを強化します。
4. 企業活動のすべてにおいて、高い倫理観のもとに、法令遵守を徹底します。
5. CSR取り組みの継続的な改善を図っていくとともに、情報開示を積極的に進め、組織としての透明性を高めます。

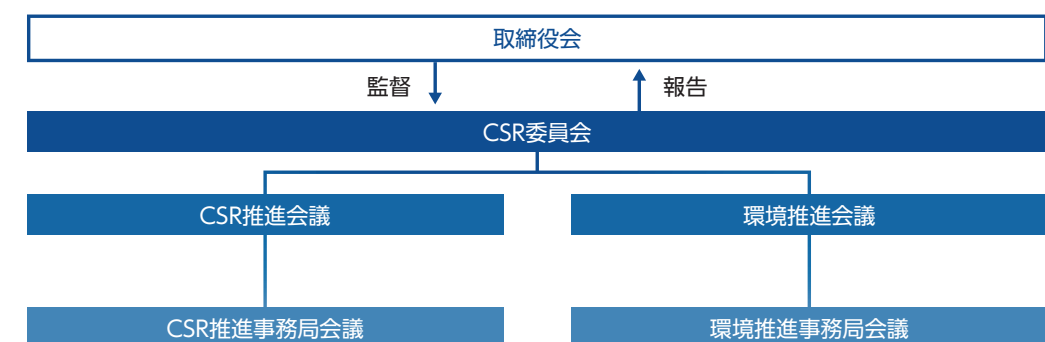
グループ総合力 CSRへの取り組み推進の核となるのは、私たちが大切にしている「グループ総合力」です。



CSRマネジメント体制

長谷工グループではCSRを重要な経営課題と位置付けており、マネジメント体制の運用を通じてCSR活動の組織的な進捗を図っています。
長谷工コーポレーション社長が委員長となる「CSR委員会」で決定した内容は、「CSR推進会議」「CSR推進事務局会議」を通じてグループ全体の戦略として落とし込まれる仕組みとなっており、会議体メンバーを中心としてグループ全体でのCSR活動の進捗・浸透に取り組んでいます。
また、2022年3月期から新たに取締役会による監督体制を設け定期的に報告することとし、「CSR委員会」の下部組織として、「CSR推進会議」「CSR推進事務局会議」に加え、脱炭素やエネルギー・環境技術などの環境施策に対応する「環境推進会議」「環境推進事務局会議」を設置しました。CSR活動と連動し、経営戦略として環境課題への取り組みをより強力に進めていきます。

マネジメント体制図



長谷工グループCSR行動計画

CSR経営を実践するための具体的な取り組みとして、「長谷工グループCSR行動計画」を定め、進捗を図っています。CSR行動計画は、「4つのCSR取り組みテーマ」を基本構造としており、テーマごとに定めた「2037年（創業100周年）ありたい姿」に向かっていくための取り組み項目と、その達成度合いを測る指標（KPI:重要評価指標）で構成しています。行動計画には、長谷工グループ全体の事業活動を盛り込んでおり、年度ごとに見直し・改善を行っています。
2020年2月に中期経営計画（NS計画）が策定され、CSRと経営方針の連動をより一層図るため、行動計画の見直しを行いました。
▶ 2020年度の目標および実績は、P20、21で報告します。

CSR経営の確立に向けて ―中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」

長谷工グループは、「住まいと暮らしの創造企業グループ」としての更なる飛躍を目指して、2020年2月、長谷工グループ長期ビジョン～2030年3月期に目指す姿～と、その実現に向けた中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan（NS計画）」を策定しました。
重点戦略として「CSR経営への取り組み」を掲げ、企業経営との更なる連動を図ることで、長谷工グループの持続的成長を目指していきます。

住まいと暮らしの創造企業グループにおける更なる飛躍を果たすべく、以下の取り組みを進めていきます。

重点戦略6. CSR経営への取り組み

- ① 事業を通じた課題解決によって「社会価値の創造」と「グループの成長」を両立させ、企業価値向上を実現
- ② 長期的な成長を図るうえで重要なESG要素と当社グループの強みをCSR取り組みテーマに取り纏め、CSRの目指す姿として推進

4つのCSR取り組みテーマ

長谷工グループのCSRの目指す姿である「4つのCSR取り組みテーマ」の実現に向けた取り組みを推進しています。



事業と関連性の深い社会課題とSDGs

SDGs(国連の持続可能な開発目標)の17目標のうち、長谷工グループの事業と関わりの深い10目標を特定しています。長谷工グループの事業は世界の社会・環境課題と密接な関わりがあることを認識し、事業を通じた課題解決によって、社会価値の創造と長谷工グループの成長を両立させていきます。

暮らしを取り巻く社会課題領域

気候変動対応 生態系保全 安全・安心
 防災・災害対応 地域活性化
 人口動態変化・高齢化社会への対応
 ダイバーシティ推進 女性活躍
 健康・医療・介護 職業教育・雇用機会創出
 保育・子育て 持続可能な消費 資源循環

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

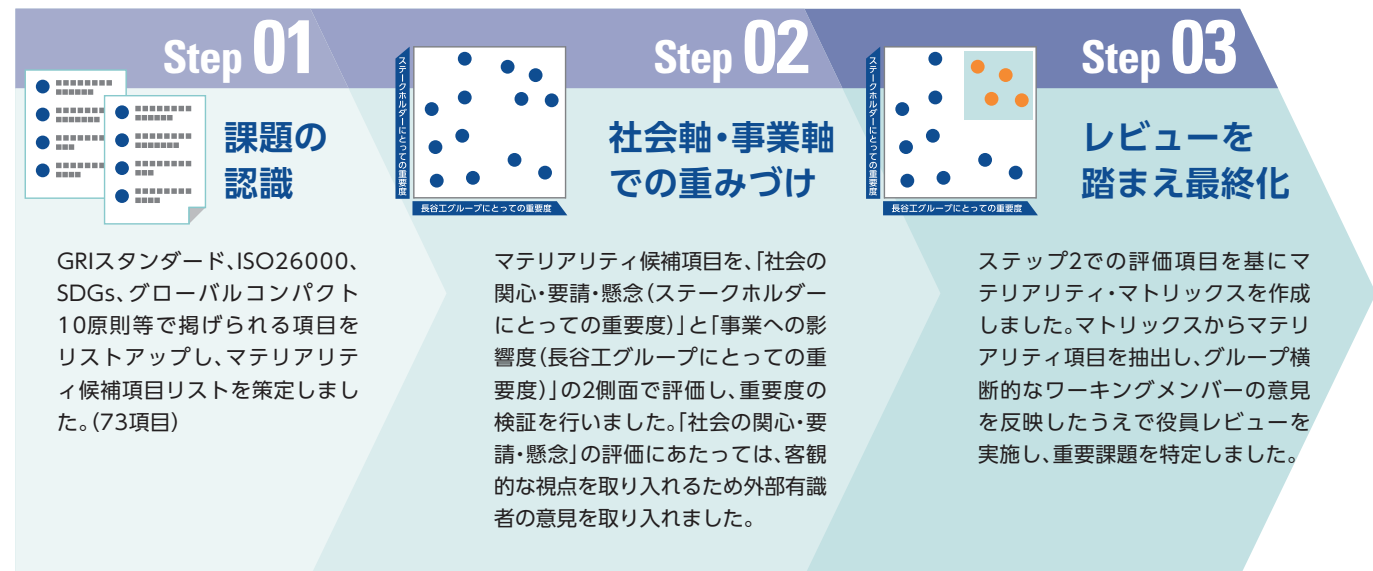


マテリアリティ

気候変動やエネルギー問題、少子高齢化、貧困・人権問題など多くの環境・社会課題が山積しており、企業が課題解決に果たす責任は大きくなっています。長谷工グループでは、2017年に優先的に取り組むべき課題をマテリアリティとして特定し、CSRを推進する上での指針としています。

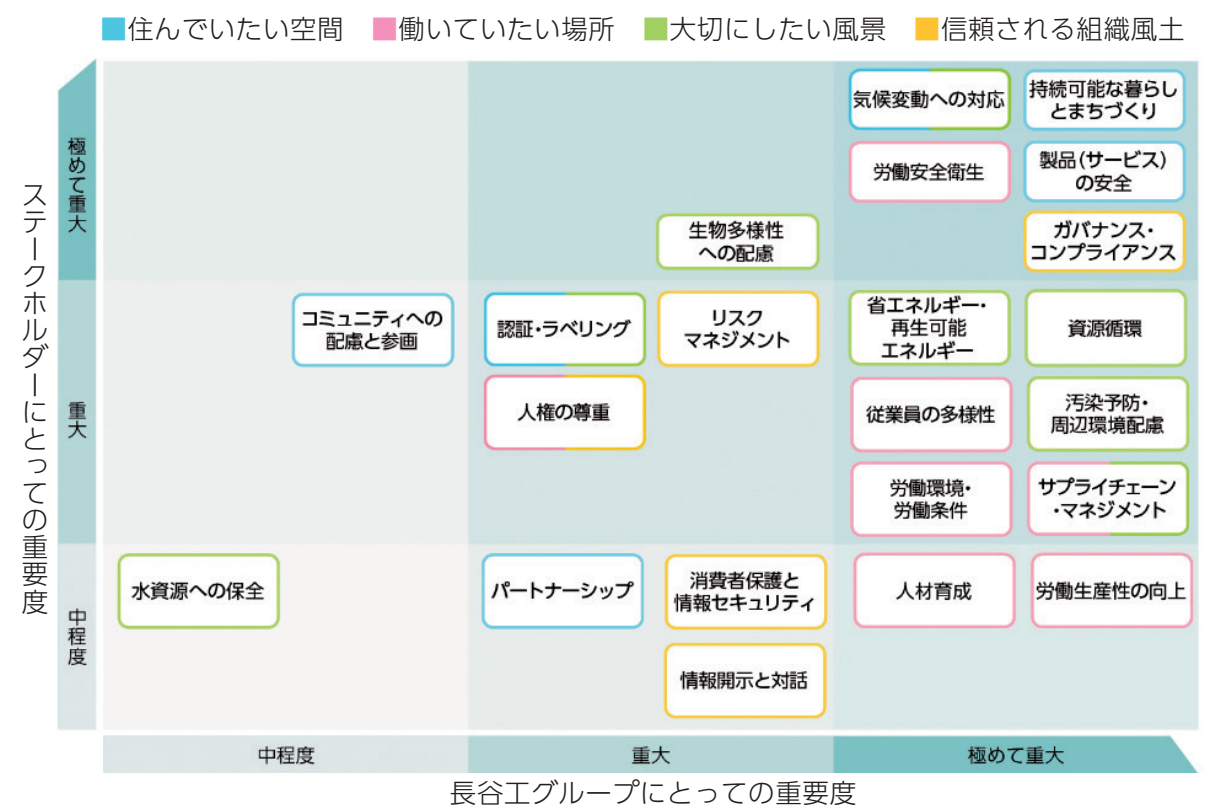
マテリアリティの内容については、2020年2月に中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」がスタートしたことを機に見直しを行いました。見直しにあたっては、中期経営計画、社会情勢、外部有識者の意見などを踏まえて事業軸・社会軸の視点で検討し、役員レビューにより2021年3月に決定、同年4月より運用しています。今後も、経営方針・社会情勢との整合性の観点から適宜見直しを行っていきます。

マテリアリティの特定プロセス



長谷工グループのマテリアリティ

特定したマテリアリティは、4つのCSR取り組みテーマの要素としてすべて盛り込んでいます。



長谷工グループにとっての重要度

2020年度長谷エググループCSR行動計画

| 4つのCSR 取り組みテーマ | 18の重点 サブテーマ | 創業100周年(2037 年)ありたい姿 | 2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目 | 指標 (KPI)／目標数値 | 実績 | | | |
|--|-------------------------------------|------------------------------|--|---|---------------------------------------|--|---|--|
| 住んでいたい 空間 様々なひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで活き活きと過ごす空間をつくっていきます。 ■ 関連するSDGs目標 | 安全・安心・快適 | 1 | 安全・安心・快適な建物とサービスの供給を徹底して追求し、長寿命な住まいを提供している | ①品質の維持・向上 ・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ ・長谷エグプレミアムアフターサービス採用戸数 ・技術開発件数 | 0件 8,113戸(累計92,324戸) 2件完了,7件継続中 | | | |
| | | | ②マンション再生事業の推進 ・マンション建替え・長寿命化相談件数 ・マンション再生に関わるセミナー開催回数 | 65件 コロナ禍により開催せず | | | | |
| | | | ③再開発事業の推進 ・取り組み件数 | 6件 | | | | |
| | | | ④ICTを活用した防犯・見守りシステムの導入 ・BIM&LIM(住まい情報と暮らし情報)プラットフォームの確立に向けた検証継続 | 検証継続 (Feel I Residence) | | | | |
| | | | ⑤緊急時24時間対応できる仕組みの継続 ・アウル24センター・警報受信件数,対応率100% | 54,961件,100% | | | | |
| | | | ⑥マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進 ・災害に強いマンション提案仕様 ルネ物件採用100% ・災害対策技術開発件数(地震(免振・制振・耐震)・台風等) ・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率 | 100% 2件継続中 100% | | | | |
| | 多様なライフスタイル | 3 | 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている | ①社会ニーズに応える建物・サービスの提供 ・DX具現化に向けた取り組み | ・新型コロナウイルス対応導入促進 ・事業化件数 ・取り組み件数 | 事業主提案実施5件 5件 | | |
| | | | ③超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等 ・シニアライフ相談窓口対応件数 | 1件 2件 | | | | |
| | | | コミュニティ | 4 | ①住宅を核とした複合開発の推進 | ・取り組み件数 | 2件継続中 | |
| | | | | | | ②地方での事業展開推進 ・明日香村事業推進 | ・展開エリア数 ・事業推進件数 | 5エリア 4件 |
| | | | | | | ④地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり ・マンション打ち水大作戦参加組合数 ・HCM管理物件でのイベント実施(100戸以上総合管理物件にて年1回) | コロナ禍により開催せず コロナ禍により開催せず | |
| | | | | | | ⑦住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になっている | ①マンション由来の環境負荷低減を実現する技術の開発・採用 ・集合ZEH事業採択件数 ・環境負荷低減技術開発件数【長谷工コーポレーション】 ISO14001目標に基づく削減 ・CO ₂ 削減率10%以上(設計) ・環境配慮設計採用率 | 3件 2件完了,4件継続中 東:12.5%,西:11.2% 東:98.0%,西:98.7% |
| 働いていたい 場所 多様な人びとが活躍する、安全で生産性の高い職場をつくっていきます。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきます。 ■ 関連するSDGs目標 | 多様な人びとの活躍 | 8 | 多様な個性・価値観を認め合い、すべての社員がやりがいを持って、自分らしく活躍できる環境が整っている | ①働き方改革の推進 ・MOST活動の推進 ・テレワークの推進(在宅勤務等) | 計画通り実施 継続実施 | | | |
| | | | | ②様々な職場での女性の登用と活躍支援 ・女性管理職登用の促進 ・えるばし認定取得 ・女性社員比率30%以上【長谷工コーポレーション】 ・新卒採用における女性比率30% | 女性管理職比率9.0% 未取得 29.7% 28.0% | | | |
| | | | | ③育児・介護関連の支援制度の拡充と推進 ・くるみん認定取得【長谷工コーポレーション】 ・配偶者出産休暇取得率 80% ・育児休業取得率(男性) 20% ・こども休暇取得率(男性) 50% | 未取得 42.5% 6.8% 40.6% | | | |
| | | | | ④障がい者と共に働く職場の実現 ・障がい者雇用率2.2% | 1.99% (2020/6/1時点) | | | |
| | | | | ⑤シニア人材の活躍に向けた支援 ・60歳研修継続実施 ・定年再活用者数 | 8月実施 189名 | | | |
| | | | | ⑥外国人社員が活躍できる職場環境・インフラの整備と推進 ・体制整備 | 継続中 | | | |
| 労働環境・安全衛生 | 9 | すべての職場で安全で衛生的な労働環境を実現している | ①安全衛生管理体制の徹底 ・中央安全衛生委員会の開催 ・死亡・重大事故災害ゼロ【長谷工コーポレーション】 ・労働災害発生率0.60以下 ・労働災害強度率0.01以下 | 年1回開催 0件 0.52 0.01 | | | | |
| | | | ②労働環境の整備 ・コロナ対策継続推進 | 継続推進 | | | | |
| | | | ③健康経営の実践 ・グループ健康経営推進委員会の開催 ・健康経営優良法人の認定取得 | 年1回開催 認定取得 | | | | |
| | | | ④従業員の心身の健康増進 ・健康診断受診率100% ・特定保健指導実施率15% ・ストレスチェック受検率100% | 99.8% 26.3% 97.2% | | | | |
| | | | ⑤DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による労働生産性向上 ・業務改善施策件数 | 7施策稼働中 | | | | |
| | | | 人材育成・技術継承 | 12 | 未来の住まいと暮らしに関わる人材を育成する多種多様な教育を実施している | ①自律的に成長・進化・挑戦し続ける人材・組織づくり ②技術・スキルの継承 | 【長谷工コーポレーション】 自己学習支援「長谷工ビジネスカレッジ」受講人数 | 2,052名 |
| ③外部とのコミュニケーション強化 ④イベント等による啓蒙 | ・長谷工マンションミュージアム来館者数 ・イベント件数,参加人数 | 1,153名(累計10,534名) 2件,682名 | | | | | | |
| サプライチェーン | 14 | 協力会社とともに安全で生産性の高い職場を実現している | ①協力会社との連携を強化・継続推進(バリューアップ活動の継続実施) ②協力会社との連携によるDX推進・施工自動化技術の開発 | ・バリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催 ・開発テーマ数 | 開催 25件 | | | |
| | | | ③協力会社におけるリスク対策 ・総会にて啓蒙活動を実施 | 実施(年1回開催) | | | | |